

幹 事 会 議 事 録

平成 15 年度 SGST 第 1 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 4 月 15 日(火) 14:00~15:20

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者: 事口(大同工大), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 小塩(名大), 海老澤(名工大), 塩見(中部大), 小澤(日本車輛), 田中(日本車輛), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上), 杉浦(日本構研情報), 山田(トピー), 13 名(敬称略)

幹事会議事内容

1)規約の改定について(塩見元代表)

- ・役員に名誉代表を追加することとし, 規約を一部改正した。

2)25 周年記念シンポジウムについて

- ・シンポジウムの内容を確認した。実行委員は旧幹事が担当。CPD に認定してもらうようにする。

3)研究委員会について

- ・H13-14 年度の研究委員会(2 件)について, 総会にて報告してもらう。

H13-14 年度「撤去を伴わない橋梁の改良設計にかかわる検討」(山田代表)

H13-14 年度「移設再利用鋼トラス橋の性能評価の事例研究」(梶川代表)

- ・H15 年度の研究委員会テーマは次回の幹事会以降で募集方法等検討する。
- ・SGST 会則によれば, 委員会の発足は総会に諮ることとなっているが, 今期はテーマアップし, 委員の募集が出来次第スタートすることとする(総会にて幹事会へ一任の旨伝える)。
- ・委員会の立ち上げ(テーマアップ, 委員長の選出)は容易に進まない面もあるため, 規約の改定も含め柔軟な対応ができるように, 委員会のあり方を検討すべきとの提案あり(若手研究者への研究奨励金的方法, 企業から委員長の選出を行うなど)。

4)H15 年度運営体制について

・事口代表(大同工大), 安藤幹事長(瀧上), 事務局: 中川(瀧上), 会計: 加藤(瀧上), 会計監査: 杉浦(日本構研情報), 議事録: 亀子(瀧上), 山田(トピー), 企画担当: 田中(中部復建), 牧野(玉野 C), HP: 岡本(パシフィック C), 研究会担当: 清水(信州大), 忠(豊田高専), 水澤(大同工大), 深田(金沢大), 小塩(名大), 海老澤(名工大) を確認

5)H15 年度定期研究会について

- ・第 1 回研究会(4/15)海老澤担当幹事
- 第 2 回研究会は 25 周年記念シンポジウム(6/27)を振り替え
- 第 3 回以降は未定

6)見学会について

- ・本年度は中部地区でいくつか候補案件があるので, 本年度中に見学会を開催するように検討する。

7)SGST の研究会を CPD に認定してもらうように働きかけ

次回幹事会にて具体的に検討

8)その他

- ・会員の把握, 会費の徴収区分, 特別会員の位置付け等不明確な点について, 検討すべき。
- ・特別会員には, 研究会議事録, 資料等を出欠にかかわらず送付すべきか(前項にも関連)。

以上//

平成 15 年度 SGST 第 2 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 6 月 18 日(水) 10:30~12:00

場所 : 大同工業大学 白水校舎 会議室

出席者 : 事口代表(大同工大), 酒造(大同工大), 水澤(大同工大), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 加藤(瀧上)

6 名(敬称略)

幹事会議事内容

6/27 の 25 周年記念シンポジウムは旧幹事が実行委員を担当することになっている。

シンポジウム当日は、時間的な都合により幹事会を開催できないため、第 2 回幹事会は事口代表、酒造(大同工大)、水澤(大同工大)と幹事会社だけで行い平成 15 年度の SGST 活動計画について事前に会議をした。

1)平成 15 年度の SGST 活動計画について

- ・定期研究会の年間予定を計画し、研究会幹事に連絡する。
- ・前年度からの検討事項であった現場見学会を 8 月に開催する。
- ・平成 15 年度 SGST 研究委員会のテーマ選定は、アンケートを作成し、募集する。

2)H15 年度定期研究会について

- ・開催場所 : 基本的には大同工業大学 滝春校舎とする。
- ・第 2 回定期研究会は 25 周年記念シンポジウム(6/27)を研究会とする。
- ・第 3 回以降の予定は 8,10,12,2 月の第 4 週火曜日とする。(12 月は休日の為、日時変更)
- ・研究会幹事の担当分担(案)は下記の通り。

8/26(火) : 清水(信州大) ⇒ 6 月 18 日に事口代表より依頼し、了承いただいた。

10/28(火) : 忠(豊田高専)

12/2 or 9 : 水澤(大同工大)

2/24(火) : 小塩(名古屋大)

3) SGST 現場見学会の開催

平成 15 年度の活動として、『東海地方のアーチ橋巡り(MAG ロード)見学会』を開催する。

日 時 : 平成 15 年 8 月 5 日(火)

場 所 : 飛騨川橋、木曾川橋、土岐川橋の 3 現場(いずれも所在地は岐阜県)

交通手段 : バスを事務局にてチャーターし、移動する

会 費 : 3,000 円程度(不足分は SGST の予算から支出する)

定 員 : 50 名を予定

集合場所 : 名古屋駅付近

※ 当日のスケジュール等は事務局にて調整し、後日正式に案内する。

4)前年度研究委員会の現状報告

- ①「撤去を伴わない橋梁の改良設計にかかわる検討」(山田委員長)⇒10 月頃完了の見込み
- ②「移設再利用鋼トラス橋の性能評価の事例研究」(梶川委員長)⇒活動完了、活動報告の準備段階
- ③「中部地区の歴史的な橋梁マップおよび紹介誌の作成」(久保委員長)
⇒研究会活動が中々進まなく活動中止となり、活動予算 50 万円が 6/6 に返納された。

5) 平成15年度研究委員会の進め方について

- ・H15年度の研究委員会テーマは、次回の幹事会以降で引継いで募集方法等を検討する。
- ・委員会の立ち上げ(テーマ選定, 委員長の選出)は容易に進まない面もあるので、委員会のあり方について下記内容を今後検討する。
 - ①テーマを一つに絞り、内容の濃いものにする。
 - ②SGSTは構造物について研究するグループであるので、コンクリート・鋼・複合構造についてテーマを選定してみる。
 - ③会員の皆様から委員長の選出を行うなどをして、活動の活性化を図る。
 - ④若手研究者への研究奨励金的な方法を取り、活動の活性化を図る。
 - ⑤研究委員会活動費などの規約改定を検討して柔軟な対応がとれるようにする。

6) その他

- ・会員の把握, 会費の徴収区分, 特別会員の位置付け等の不明確な点を検討しなければならない。
- ・活動報告書の送付, 年会費の請求の際に会員数の把握, 会員区分の再確認をする。
- ・現段階では会員名簿の整理をしており, 7月上旬に年会費の請求書を送付する予定。
- ・SGST活動をより理解していただき活性化を図る為に, 名古屋高速道路公社, 日本道路公団, 名古屋市, 愛知県などに挨拶, 活動のアナウンスをする予定。

以上//

平成 15 年度 SGST 第 3 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 8 月 26 日(火) 15:00~16:00

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者 : 事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 中川(瀧上), 尾関(瀧上), 杉浦(日本構研情報), 山田(トビー), 9 名(敬称略)

幹事会議事内容

1) 第 2 回幹事会議事の説明(事口代表)

- ・ H15 年度活動計画, 定期研究会, 現場見学会, 研究委員会の件他.

2) 中間会計報告

- ・ 25 周年シンポジウムと現場見学会の会計報告があった. 不足分は SGST より補填を行うこととする.
- ・ 25 周年シンポジウムについて, 報告書を冊子にして発行する(塩見元代表). 発行部数 150 部で予算約 50 万円を計上する.
- ・ 現在の特別会員・個人会員の納入状況の説明. 特別会員については, 各代表者に参加委員の確認および請求書の送付を行った. 個人会員には, 請求書を送付済み.
- ・ 個人会員は納入状況が悪いため(約 30%), 再度メール等にて納入(銀行振込)を促すと共に, 研究会開催時に直接支払いも可能とする旨告知する.

3) ホームページ改変について

- ・ 現行 : ホームページ立ち上げ時の経緯から, 葛西委員(名大)名義で契約, 請求書も葛西委員経由で SGST にて処理→SGST での管理とすべき
- ・ 現在は NIFTY と契約(36,000 円/年), 岡本 HP 担当幹事が管理, 実際の更新作業等は外注業者に委託(5 万円/年)
- ・ オリジナルドメインの取得(NTT と契約 : 36,000 円/月), 更新作業等は外注業者に委託(5 万円/年)
- ・ 費用的には変わらないが, 移行のために一時的に費用が発生(60,000 円程度)
- ・ 費用処理の点, ホームページの永続的な利用から, 移行措置が望ましい. 次回幹事会にて岡本担当幹事より説明

4) その他

- ・ 8/6MAG ロード現場見学会の件をホームページへ公開
- ・ 特別講演会の開催 : 9/5 大橋治一氏(米国 NY パースンズ)の告知
- ・ 次回幹事会, 研究委員会 : 日時 10/28, 担当 忠先生(豊田高専)

5) 研究委員会の進め方

- ・ 研究委員会の位置付け, 要求される成果のレベルが明確ではなく, わかりづらい状態である.
- ・ 幹事がそれぞれ 1 案ずつ作成し, 事務局へメールで連絡, 幹事会で検討する.

6) CPD 申請の件

- ・ 水澤幹事より, 土木学会へ問い合わせの結果説明 : SGST として申請可能である.
- ・ 研究会開催ごとに申請書を提出, 認定をもらう必要がある.
- ・ 水澤幹事にて書面の雛型を作成し, 次回幹事会で検討する.

以上//

平成 15 年度 SGST 第 4 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 10 月 28 日(火) 15:00~16:00

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 和室

出席者: 安藤(瀧上), 海老澤(名工大), 岡本(パシフィックC), 加藤(瀧上), 亀子(瀧上), 事口(大同工大), 杉浦(JIP), 忠(豊田高専), 牧野(玉野C), 水澤(大同工大), 山田(トビー), 11 名(敬称略)

幹事会議事内容

1)第 3 回幹事会議事の説明

- ・ 中間会計報告、会費納入状況、ホームページ改変、研究会の活動方針、CPD 申請について報告した。

2)H15 年研究委員会の進め方

- ・ 会員へのアンケートの結果、いくつかの案が提示された。その中の一つとして、「バリアフリー」に関する WG を立ち上げてよいかとの意見があった。このほかに、あと一つ程度 WG を立ち上げる。
- ・ 若手研究者の育成のため、奨励制度を設ける。

条件: 40 万円×2 件 (研究・調査等)

SGST 定期研究会での発表、論文集への投稿、学会発表等を条件とする。

次回までに、海老沢幹事に詳細な応募条件等の案を作成して頂く。

3)SGST 内規の改正について

- ・ SGST 内規 (主として講演費) の改訂は、現状の会費収入を考え、講演費の引き下げを事務局より提案した。数年前に引き上げたという経緯もあるため、継続協議とする。
- ・ SGST 主催 (各 SGST-WG 主催も含む) の特別講演会についても、SGST 主催とする場合の規定が必要ではないか?。これについても継続協議とする。

4)12 月定期研究会の共催について

- ・ 12 月定期研究会を名古屋工業大学共同開発センターの講演会と共催する内容について協議した。SGST では、基本的には可能であると考え。(名工大のより 11/4 迄に返答をいただく)
- ・ 12 月定期研究会は懇親会も兼ねるため、上記の結果次第で研究会会場を確定させる。
- ・ 名工大と共催となった場合は、12 月定期研究会の幹事は海老沢幹事とし、水澤幹事には 2 月定期研究会の担当をお願いすることとする。

5)ホームページ改変について

- ・ 前回議題となったホームページの改変、プロバイダの変更、ドメインの変更について。現状、葛西委員個人で契約しているプロバイダを、SGST にて NTT と契約し、ドメイン名も変更する。全会員を対照としてアンケートを行い、ホームページ改変の際の意見要望を取り入れることとする (アンケートは 12/中をメドに集計する)

6)CPD 申請について

- ・ SGST 定期研究会について、土木学会 CPD (継続教育制度) の認定申請を行うものとする。次回 12 月の定期研究会において試行することとする。原則として、定期研究会の他、SGST 主催の特別講演会等も CPD 認定申請を行うこととする。
- ・ CPD の認定を定期研究会・講演会等で受ける場合は、最低 1 ヶ月前には日時、場所、講演者、講演題目、講演内容等を確定させる必要がある。

以上//

平成 15 年度 SGST 第 5 回幹事会 議事録

日時 : 平成 15 年 12 月 9 日(火) 14:00~15:00

場所 : 名古屋工業大学 2 号館 11 階ラウンジ

出席者 : 事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 尾関(瀧上), 杉浦(JIP), 加藤(瀧上), 亀子(瀧上), 山田(トビー), 10 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1)第 4 回幹事会議事の説明(加藤議事録担当)

- ・ H15 年度研究委員会の進め方, 内規の改定, ホームページの改変, CPD について他.

2)ホームページ改変について

- ・ 2004 年 1 月中旬をめどにホームページ改変
- ・ 11/19 に各会員へメールにてアンケート調査(ホームページのメイン名, 内容についての意見)を実施中. 締め切りは 12/20.

3)CPD 申請の件

- ・ 第 4 回 SGST 研究会を土木学会へ申請し, CPD の認定を受けた(水澤幹事より). 今後も定期研究会は継続して認定申請する.
- ・ 研究会開催ごとに申請書を提出, 認定をもらう必要がある.

①担当幹事が研究会内容をまとめた書類(A4, 1 枚程度, 講演題目, 講師, 講演内容, キーワード等)を作成→②事務局で申請書類を作成→③代表から土木学会へ申請書類提出→④認定

4)H15 年度活動資料集について

- ・ 事務局にて原案を作成, 2 月の幹事会で諮る. 内容は, 研究会 6 回(内 1 回は記念シンポジウム)と現場見学会について. ただし, 記念シンポジウムは別冊が出るので, 本資料集には概要のみの記載とする.
- ・ 印刷業者は 3 社程度で見積り比較して決定. カラーページの採用も検討する.

5)研究委員会の進め方

- ・ 研究委員会の公募を下記のように行う.

①対象 : 若手委員の研究調査と奨励,

②金額・件数 : 40 万円×2 件,

③条件 : ・研究成果報告書の作成(記録として保存), →内容, 書式は追って検討

・ 定期研究会等での成果報告

・ 学会発表, 論文投稿を推奨 (SGST の助成を明記する)

・ スケジュール

メールにて各委員へ募集(～H16/1/15)→募集結果を幹事会へメールで報告, 意見徴収(～1/25)→研究委員会決定(～1/31)→委員募集(～2/15)→活動開始(H15/3～)

・ 研究委員会テーマの候補(案)

①バリアフリー化に対応した市街地小規模施設の構造提案(安藤代表)

②諸外国の設計基準・解説書等の翻訳(清水研究会担当幹事)

6)次回幹事会・研究委員会

・ 2/24(予定), 担当 水澤研究会担当幹事

・ 本年度研究委員会の報告を行うことをワーキング代表に打診(山田先生, 梶川先生).

以上//

平成 15 年度 SGST 第 6 回幹事会 議事録

日時 : 平成 16 年 2 月 24 日(火) 13:30~15:00

場所 : 大同工業大学 滝春校舎 A 棟 14 階 会議室

出席者 : 事口(大同工大), 水澤(大同工大), 清水(信州大), 海老澤(名工大), 安藤(瀧上), 織田(瀧上), 亀子(瀧上), 山田(トビー), 8 名(敬称略)

<幹事会議事内容>

1) 第 5 回幹事会議事の説明(山田議事録担当)

・ H15 年度研究委員会の進め方, ホームページの改変, CPD 申請, 活動資料集について他。

2) 研究委員会の進め方

1) 現在, 募集している研究委員会について

具体的な内容に乗せた上で, 会員全員にメールで再度連絡のこと。

2) 川田工業吉田氏より「複合構造の研究」というテーマにて提案がありました。

→ 研究委員会ではなく研究奨励とする。

(H15 年度研究奨励のうちの一件として扱う)

3) H15 年度活動資料集について。

例年発行している構成にて, 事務局で作成した原案を検討。

以下の点を追加する

- ・ 「ごあいさつ」として, SGST の概要などを, 事口代表に執筆して頂く。
- ・ 定期研究会講演者の方に 1 ページ程度の講演概要を執筆して頂く。
- ・ 幹事会議事録を巻末に添付する。
- ・ 会員名簿に人数を明記する。名簿の特別会員(一種・二種)の種別を明確にする。
- ・ SGST 概要の中に CPD 申請を加える(内容を更新すること)

4) H16 年度 総会について

日時 : 平成 16 年 4 月 27 日

場所 : 大同工業大学 滝春校舎

スケジュール : 13:30~ 幹事会

15:30~ 総会

16:00~ 講演会

後援会担当 : 小塩幹事(名大)

懇親会を予定(場所未定 : 牧野幹事)

以上//